

地域活動展開
集団支援

		A1	A2	A3	A4	A5
		<ul style="list-style-type: none"> ・年度単位でひとつの業務を実施することができるレベル ・個人、家族への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年単位で複数の業務の方向性を決定し、実施することができるレベル ・集団、組織、地域への基本的な支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数業務の展開、改善に責任をもつレベル ・住民、関係機関と協働し、より深い支援に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理的役割の補佐ができるレベル ・施策化、システム化の提案に責任をもつレベル 	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的な管理的役割を担うレベル ・施策化の立案、システム化に責任をもつレベル
保健師の活動領域	<p>元のラダー→ (能力を発揮して行うこと・行動レベル)</p> <p>↓求められる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の集団の特性と健康課題及び支援方法を理解し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の支援評価から、課題を明確化し改善の方向性を検討できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人から集団支援移行への円滑化にリーダーシップがとれる。 ・支援を要する集団を特定できる。 ・現行の集団支援の質を改善できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の質を評価し、集団に適した支援のスーパーバイズができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定した集団に根拠に基づいた方法を選択できる。 ・管轄地域内の支援体制が個も集団も含めて体系的に整っているかを判断できる。
地域活動展開 集団支援	① 集団での支援を要する健康課題を明確化する能力	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の集団の健康課題を理解し、説明できる。 2) 個別事例から効果的な集団支援方法について理解することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の支援評価から、課題を明確化し改善の方向性を検討できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 個人から集団支援移行への円滑化にリーダーシップがとれる。 2) 保健事業を通じて生活習慣・生活環境の問題点を整理し、健康教育につなげることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 集団全体の評価をグループ育成や組織化支援に活用することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 集団支援の過程に必要なスーパーバイズやコンサルテーションを実施することができる。 2) 潜在化している健康課題を総合的に評価し、支援体制を構築できる。
	② 支援を要する集団を特定する能力			<ol style="list-style-type: none"> 1) 支援を要する集団を特定できる。 2) 同様のニーズを抱えた特定集団の状況把握を行うことができる。 		
	③ 特定の集団にアクセス/アプローチし支援につなげる能力	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の集団の種類と機能を理解し説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 支援が必要な集団に対し、自立して支援できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) グループをエンパワメントできる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地域の課題を解決するために、集団同士をつなぐことがより効果的であるかを判断できる。 	
	④ 集団の特性に応じたグループ支援の方法を選択し、実践する能力	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の集団の特性と支援方法を理解し、説明できる。 2) 現行の集団支援において保健師が果たしている役割を理解し説明できる。 3) 集団支援に必要な知識・情報を確認できる。 4) 集団にアクセスし、支援を実施(体験)できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の集団の特性と支援方法を理解し、支援が実施できる。 2) 集団のグループダイナミクスを活用できる。 3) 集団の特性に応じた支援計画を企画できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現行の集団支援の質を改善できる。 2) 対象集団に応じた効果的な支援方法を選択し、実施評価ができる。 3) グループメンバー個人の変化を明らかにし、評価ができる。 4) グループ全体の変化を明らかにし、長期的な評価ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 集団の質を評価し、集団に適した支援のスーパーバイズができる。 2) 特定した集団に根拠に基づいた支援方法を選択できる。 3) スタッフがケアチームの中で保健師としての役割が担えるよう助言指導ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 管轄地域内の支援体制が個も集団も含めて体系的に整っているかを判断できる。 2) 管轄内の支援体制が個も含めて体系的に整っているかを判断できる(地域ケアシステムの内容でもある) 3) 集団への支援を通して立案した事業により、住民による地域の健康課題の解決を支援できる。